

# 産業建設常任委員会活動レポート

開催日：令和6年4月18日(木)

開催場所：1・2号委員会室

## 獺友会中標津支部様との懇談会

獺友会中標津支部様と懇談会を開催し、次のとおり説明や要望をいただきましたので紹介します。

### 1. 野生鳥獣の保護管理・捕獲について

- ・住民に危害がある場合、駆除が必要となるが銃刀法や狩猟法の壁によりハンター（捕獲従事者）としての活動が難しい。
- ・警察、行政、獺友会の三者で十分な話し合いが必要。
- ・野生鳥獣が増えたのはハンターが年老いたせいではなく、環境省の保護管理が悪い。
- ・捕獲従事者の育成には年数がかかる。意欲、時間がある人でなければ難しい。
- ・エゾシカ対策協議会において鹿の頭数を数えて欲しい。農業被害の把握。
- ・巻き狩りは1日で出来るものではない。一週間は準備が必要。
- ・春熊の駆除は長い期間とすぐに行動できる体制が必要。

### 2. 獺友会からの要望について

- ・1市4町の垣根を超えた捕獲駆除の許可ができるように振興局に要請してほしい。
- ・免許更新の際に必要な精神科医の診断書を即日交付できる方法を検討してほしい。
- ・学校教育、自然教育、熊対策、鹿対策等を行う自然鳥獣対策課の新設してほしい。
- ・農林課自然環境係の他に、有害駆除専門の係をつくれませんか。
- ・捕獲従事者講習をハンターのレベルに合わせた効果的な研修となるよう検討してほしい。
- ・熊を駆除することがいかに大変か行政に理解してほしい。また経費についても全額補助してほしい。